人権・同和教育推進大会 講演会



6月18日（木）尼崎市教育・障害福祉センター視聴覚室にて開催しました。

差別やハラスメントに潜むもの
～無知・無関心と無意識の偏見～

講 師 ／ **助野 慎一郎 さん**
（西宮市市民局人権推進部人権教育推進課職員）

ハラスメントって？



相手を不快にさせたり不利益を与えたりする行為の総称。いたずら・いじめは、悪意があることを想定して使われる言葉であるのに対し、ハラスメントは、被害者が心の傷や精神的ショックを受けたと感じることによって成立するため、加害者側の意図や主観は重要ではない。（フリー百科事典ウィキペディアより）
加害者が「そんなつもりじゃなかった」「悪気はなかった」「良かれと思って」と言っても、相手が傷ついたらそれはハラスメントになります。

ハラスメントの加害者になってしまわないために…

ハラスメントには、アンコンシャスバイアス※が潜んでいます。自分の中にあるアンコンシャスバイアスに気づくこと、また、自分が発した言葉の先にある相手の気持ちを考えたり、相手がどういう事情や思いを抱えているのかを想像しながらコミュニケーションをとることが大切です。

※**アンコンシャスバイアス**　自分自身では気付いていない、根拠のない思い込みや偏見、固定概念。「女というものは」「男の人なんて」「高齢者は」「今の若い者は」「外国人は」などさまざまなもので一括りにして自分が思っていることを伝える、あるいは「普通は○○やろ」「きっと○○に決まっている」という決めつけの思考などのこと。

★尼同教だより 115 号で特集しています。HP からバックナンバーをご覧ください★

講演の内容は年度末発行の「尼同教この 1 年」に収録予定です。詳しくは尼同教事務局までお問い合わせください。

・ハラスメントの現場に居合わせた時にできること・

Delay ―後でフォローする
ハラスメントが発生した後に、ハラスメントを受けた人の様子を確認する。「私は見ていました」「何か必要なことはありますか？」と声をかける。

Document ―記録する
写真や動画の撮影、音声の録音メモへの記入などして記録する。最終的に被害者に提供する。

Delegate ―助けを求める
協力してくれる人を探す。隣にいる人に声をかけ、状況を記録してもらう、直接介入してもらうなどする。また、ハラスメントを受けている人に確認して、職場の上司やハラスメント窓口、その他の支援団体や警察に協力を依頼する。

Distract ―気をそらす
ハラスメントの激しさから注意をそらし、状況を和らげる。例えば、コーピーカップを落としたり、話題を変えたりして全員の注意をそらす、ハラスメントを受けている被害者に話しかけて別の場所につれていくなどをすることで、安全な空間を築く。

Direct ―直接介入する
加害者に注意をする。「ちょっと今のはどういう意味？」「そんないい方は失礼です」「それは違うと思いますよ」などと声をかける。

ハラスメントや差別の現場に居合わせた人をバイスタンダーと言います。バイスタンダーが「見なかったこと」にしてしまうと、被害者は周囲の人も加害者に同意していたと思ってしまいます。被害者へのケアや再発防止のためにも「行動する傍観者ーアクティブバイスタンダー」をめざしましょう！

・さまざまなハラスメント・

＊100 以上あると言われているハラスメントの一部です。

パワーハラスメント ▸ 職場での優位な立場を背景に、業務上必要かつ相当な範囲を超えた言動により、労働者の就業環境を害する行為。暴力や暴言だけでなく、無視や過度な私生活への介入なども含む。

セクシャルハラスメント ▸ 相手が望まない性的な言動で不快にさせたり、不利益を与えたりする行為。異性間だけでなく同性間でも起こりえる。

ジェンダー・SOGI ハラスメント ▸ 性別や性自認、性的指向に関する偏見で、相手を傷つけたり不利益を与えたりする言動。

マタニティハラスメント・パタニティハラスメント ▸ 妊娠や出産、育児休暇などを理由に、職場で嫌がらせや不利益な扱いをすること。

レイシャルハラスメント ▸ 人種や民族、国籍への偏見にもとづく嫌がらせ。

カスタマーハラスメント ▸ 顧客や取引先からの言動のうち、内容や態様が社会通念上相当な範囲を超え、働く人の就業環境を害する行為。

モラルハラスメント ▸ 言葉や態度で相手を精神的に追い詰め、尊厳を傷つけるような嫌がらせ。

不機嫌ハラスメント ▸ 自分が不機嫌であることを口調や態度に出し、周囲に不快感や威圧感を与える行為。

ロジカルハラスメント ▸ 正論や論理を武器にして相手を精神的に追い詰める言動。

こんなハラスメントも！

ハラスメントハラスメント ▸ 何にでも過剰に反応して、正当な行為をハラスメントだと主張する行為の俗称。

第 73 回 兵人教阪神地区大会

7 月 25 日（土）私立三田学園中学校高等学校で開催されました。
尼同教からは 5 本の報告発表を行いました。

就学前教育部

一人一人を大切にする保育
～心を動かして遊び 育ち合う子どもをめざして～

報告者／齋藤 真左子 さん（市立小園幼稚園 教諭）

幼児が自分のやりたい遊びを十分にしたり、少し難しいことに挑戦したりしていく中で、自分に自信をもち、友だちとのかかわりを深め育ち合っていく姿を通して、一人一人を大切にする保育の実践を報告。

小学校教育部

本校の人権教育と縦割り活動の報告

報告者／山崎 拓利 さん（市立明城小学校 教諭）

明城小学校の人権教育の取組と、１年生から６年生までの縦割り活動を通した、思いやりの心や望ましい人間関係育成を報告。

中学校教育部

誰もが存在する価値があるためには
～誰をも認め・誰も見捨てない～

報告者／福井 厚仁 さん（市立園田東中学校 教諭）

さまざま事情や背景をもつ生徒が在籍している校区で、支援が必要な外国人生徒や校内サポートルームに通う生徒へのかかわりを中心に、自他を尊重できる生徒の育成に努めていることを報告。

進路保障部

外国にルーツを持つ生徒の「進路学力保障」に向けた実践報告
～外国籍生徒の受け入れを通した多文化共生への歩み～

報告者／大堀 法之 さん（市立塚口中学校 教諭）

昨年５月、本校３年生に転入したネパール国籍生徒の「進路学力保障」に向けた実践報告。外部支援員による日本語指導や ICT 機器を活用した学習支援、学級での多文化理解などの取組について発表。

社会教育部

尼崎市少年補導委員の活動について　報告者／蓑輪 美幸 さん（尼崎市少年補導委員連絡協議会）

少年補導委員は、『地域の子どもは地域で守り育てる』という心構えでみまもり活動を展開し、少年に対する愛の一声や啓発活動などに取り組んでいます。
主な活動であるみまもり活動は、青少年を有害な環境から守り、問題行動を早期発見し、早期指導を行うことを目的としています。

少年補導委員に就任したきっかけ
長男が幼稚園に通っていた頃、同級生のお母さんが少年補導委員をされていることを知りました。そんな中で住んでいるマンションの役員が回ってきた時に、「少年補導委員を引き受けてもらえないやろうか？」と自治会長から依頼され、悩んだ末に同じマンションに住む友人にも声をかけ、一緒に引き受けることにしました。

活動中のエピソード
- ３年目の頃、喫煙している少年を見つけ、勇気をだしてたばこを吸わないように声をかけました。その日以降、同じ場所で見かけることはありませんでしたが、そこを通るたびに思い出します。
- 道路に落ちている注射器を見つけたこともあります。警察 24 時などのドキュメンタリー番組を思いだしてドキドキしました。自分の指紋がつかないようにティッシュでくるみ、ビニール袋に入れて、社会教育課の先生に提出しました。

少年補導委員のなり手を減らさないために―
- 年齢要件など、募集要項の見直しをしました。
- スマートフォンを使っての活動報告が可能になり、情報共有ができるようになりました。
- 地域の皆さんに親しみを持ってもらえるように、名称を「**尼っ子みまもりたい**」に変更します。